

11月 ももぐみだより



2021年11月1日
社会福祉法人 尚徳福祉会
おぐら保育園



園庭で遊んでいると落ち葉を見つけ、あそびの中に取り入れることが多く、そんな様子から秋の深まりと冬の訪れを少しずつ感じられる時期になりました。身近にある自然に触れる時間を増やしていきたいと思います。

朝晩と気温の変動が大きい時期ですが、室内の環境や衣服の調節をし、体調管理に気を配りながら、これから一段と寒くなる季節に負けず、元気いっぱい外あそびを楽しんでいきます。



あきまつり

先月は、「あきまつり」へクラス全員で参加しました。スタンプカードとお土産を入れる袋を持って、保育士たちの作った輪投げや的あてなどのコーナーを回りました。特に人気だったワニワニパニック、くじ引きのコーナーでは列が出来る程の人気でした。更に今年はお店番をゆり組のお兄さんやお姉さんたちが手伝ってくれました。元気よく「いらっしやいませー！」と声をかけてもらい、時にはやさしく遊びのサポートをしてもらえると嬉しさは倍増し、笑顔と楽しそうな声が会場にはあふれていました。

制作あそび

これまでクラスでは、いろんな制作あそびを取り入れてきました。子どもたちは、いつも楽しそうに作っています。その都度、作品の中に指先の動き、力加減を意識した物、色の変化や季節を感じる物など子どもたちの発達に応じたテーマを取り入れていきます。今月は「ハサミ」を使用しています。安全を考慮し、子どもたちへ事前の説明と約束をし、一人ずつ保育士が付き、短冊形の画用紙を切っています。



切った画用紙がどんな作品になるのか、楽しみにしていただけたいと思います。

よみきかせとあそび



クラス内でルールを設けた集団遊びをすることが増えてきました。保育士といっしょに「ハンカチ落とし」「椅子取りゲーム」など楽しみながら、「ルール」の存在を感じてもらっています。先月の終わりごろから「かごめかごめ」を遊んでいます。絵本(わらべうたであそびましょ!)で覚えた歌詞とリズムをみんなで唄い、友だちや保育士を真ん中にしてぐるぐると輪になって回っています。一度終わると「次はわたし！」と立候補する子が多く、また一つ、みんなで楽しめる遊びが増えたとうれしく思っています。

進級に向けて

進級に向け、クラスでは、一人一人の様子に合わせて、着替え、脱いだ服をたたむ、片づけるなど「自分でする経験」を増やしています。保育士に確認しながらする子、自ら進んでする子と姿は様々です。そんな子どもたちの「自分でやろうとする意欲」をクラスでは大切に見守っています。

その中で、畳んでいる最中や片づけようと衣服を持ち上げた後を見ると、ポツンと下着などが置いてあることがあります。その際は、声をかけて戻していますが、時折、名前のない物があります。引き続き、確認をよろしくお願いいたします。